



# 鹿児島県薩摩川内市 株式会社 柳山ウインドファーム

## — 地域振興策の要として活躍する12基の風力発電 —

### 課題

過疎化や高齢化によって、農業を始めとした地域の産業が衰退。また、遊休地・荒地の増加も課題となっていた。

### きっかけ

市町村合併によって薩摩川内市が誕生したことを契機に、地区が主体となって、自然観光公園事業と風力発電事業による地域振興策を検討。

### 発電

地区住民、市、地元企業、九州電力と関係者を増やしながら事業を推進。約10年の月日をかけ、12基の風力発電設備が稼働。

### 効果

売電収入の一部を支出し、自然観光公園事業をサポート。イベントや地元農産物等を目当てに、毎年15,000名が来場。

設 備 概 要

- 発電種類 : 風力発電
  - 発電出力 : 27,600kW (2,300kW × 12基)
  - 発電量 : 約4,800万kWh/年
  - 建設費 : 約72億9,000万円
  - 運転開始 : 2014年10月
- ※ 農山漁村再生可能エネルギー法に基づく認定設備 (2015年3月)

事業概要 (経過)

2004年

峰山地区コミュニティ協議会が、自然観光公園事業と風力発電事業による地域振興策を市に提言。

2005年05月

風力発電事業計画を推進するため、地域住民、市、地元企業等により「せんだい風の会」を設立。

2006年07月

自然観光公園事業として、峰山地区の象徴である柳山に「柳山アグリランド」を開園。

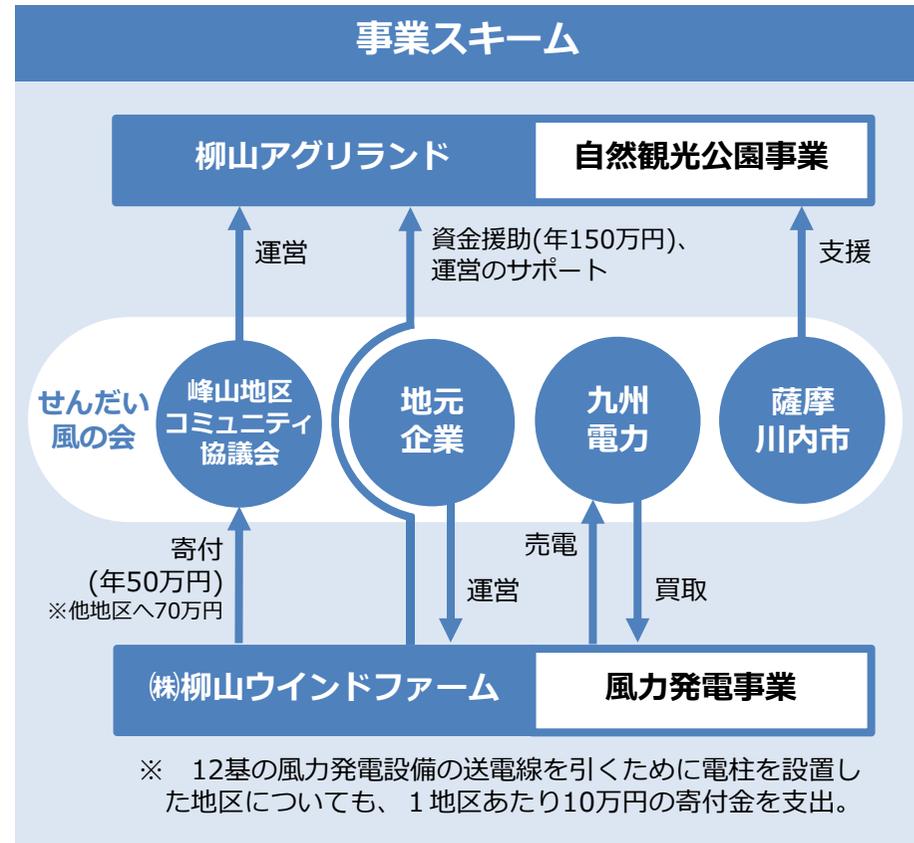
2012年06月

風力発電設備を運用するため、地元企業が特別会社「(株)柳山ウインドファーム」を設立。

2014年10月

風力発電設備が稼働開始。自然観光公園事業のサポートや、寄付金等での地域貢献の他、メンテナンス関係において地域に雇用を創出。

事業スキーム



柳山アグリランドの取組

3 haの牧場跡地（荒地）を活用した自然観光公園で、地域住民のボランティア作業によって整備された。

「柳山四大祭」と銘打ったイベントの拠点となっている他、牛舎をリノベーションしたカフェでは、地元農産物の販売の他、オリジナルの芋焼酎（原料となる甘藷は、敷地内の畑で生産。）を始めとする6次産業化の商品を販売しており、地域内外から毎年15,000名を集客している。

ワイナリーと乗馬場の建設を目標に掲げ、2019年にブドウの苗木を植樹予定。